



3 TC における新型コロナウイルス感染症へ対応方針

3 TC 運営本部

新型コロナウイルスの感染者が増え、これまでとは異なる新たな変異株「KP.3」が登場し、今、「第 11 波」に入ったともいわれています。この新たな変異株は感染力が高く、主に喉の痛みや発熱といった症状が現れるとされています。

ついては、運営本部では以下の方針を共有し、大会運営にあたります。

参加隊におかれても、安全な大会運営のため、ご理解とご協力をお願いします。

1. 対応方針は、8月2日（金）15:00 より現地で開催する「安全担当者会議」にて改めて説明します。

- ・各参加隊にて、安全担当指導者を選任いただいていると思いますが、必ず各隊 1 名の成人指導者が出席するようにしてください。

2. 手指の消毒、咳エチケット（マスクの着用）など、各自で仲間への優しい行動の励行を推奨します。

- ・消毒液等は、参加者個人または参加隊にて、予めご準備願います。

3. 発熱等の症状や体調不良者が出た場合の対応は次の通りとします。

(1) 速やかに救護所にて診察を受けてください。

(2) 救護所の医療従事者等の判断により、外部の医療機関での診察を受けていただきます。

①陽性の判断の場合

- ・医療機関では、新型コロナウイルス感染症の場合は自宅療養と判断されます。
- ・よって、運営本部としては活動を継続することは困難と判断、原則、野営大会参加を中止し、帰宅措置（ご家族の送迎）とします。
- ・救護部 → 総務部 → 運営本部の系統で情報を集約し、参加隊指導者と連携し、担当副運営本部長より保護者へ連絡することとします。
- ・現状、濃厚接触者等の概念はなく、陽性者と活動を共にした者がいる場合でも、帰宅措置等は陽性者本人のみへの対応とします。

②陰性の判断の場合

- ・救護所の医療従事者等の判断も踏まえ、体調が戻り次第、活動へ復帰させます。

以上

